

AUTOBACS SUPER GT Round1 岡山国際サーキット 300Km RACE



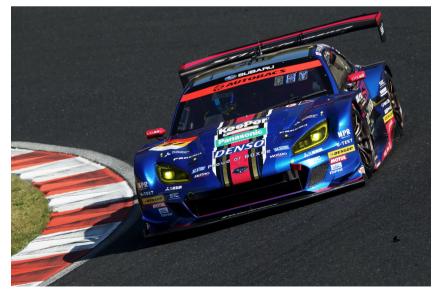


<公式練習 / 7位>

天候に恵まれ二日間共に晴れ。また来場者も制限無く、多くの方が来場されており、 以前の活気が戻ってきたように感じました。またSUBARUファンシートも復活し、 自分達のピット前に沢山のSUBARUファンの皆様が旗を振って応援してくれていました。 気持ちも引き締まる思いです。

今シーズンは開幕前のテストでは、新しいECU(ソフト)を取り入れていましたが、マッチングが上手くいかず昨年のモノに戻して戦います。まず山内からマシンの確認とタイヤの確認を行い、マシンバランスの調整をしていきます。確認後は、井口選手と早めに交代し、タイヤのロングを確認してもらい、練習走行を終えます。





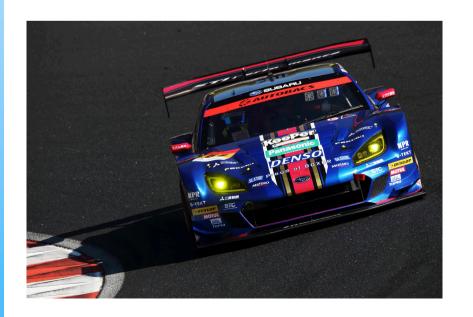


<公式予選 / 1位>

Q1は、井口選手が担当します。タイヤ選択は、今シーズンから開発されたタイヤを使用したかったのですが、決勝でのバランスに悩まされ断念。昨年使用していたタイヤで予選に挑みます。井口選手は難なく5番手でQ1を通過。

Q2は、自分(山内英輝)が担当します。

マシンの変更は、リア車高0.5ミリの変更のみ。ピットから出た瞬間、路面が練習の時より大きく向上していると感じました。一周目で一発で決めればチャンスはあるなと直感で感じました。またダンロップさんのタイヤが路面と素晴らしくマッチし、ポールポジションを獲得することができました。明日はトップからのスタートとなります。







< 決勝 / 9位>

スタートは、井口選手からスタートとなります。ポールを取ると井口選手からスタートという流れがチーム内でできつつあります。

レースが始まり、スタート直後の2位争いが激化し、少しギャップを作ることに成功。 ただ後半ヨコハマタイヤを履くGT3車両達が大きく追い上げてきます。20周目辺りで ポジションを2位に落とし、35周目にピットに入り自分と交代します。

ここでマシントラブルが起きてしまい、大きくタイムロス。スターターのギアが噛み合わず回らない、またフューエルポンプが自動で落ちてしまい、すぐに復帰することができずでした。この影響で15番手までポジションを落としてしまいます。







そこからポジションを上げるために追い上げを頑張りますが、 昨年よりパワーを落とされた影響で、バトルに加わることも抜きに出ることができず苦戦。 ただ前がバトルをして中ミスが出たところを抜きながらポジションを上げていき、 最終的には9番手でチェッカーを受けました。何とかポイントだけは持ち帰ることが できましたが、決勝でのバトルには課題が大きいなと感じました。トラブルの方は、 チームの方がまた改善をし、二度目がないよう対策を取り組んでくれています。 次戦は、富士スピードウェイで開催されます。次戦は長距離レースとなりますので、 大きくポイントを持ち帰れるように頑張りたいと思います。 引続きご声援よろしくお願い致します。



